

# 平成17年度「出生に関する統計」の概況

## 人口動態統計特殊報告

### 目次

|     |                                  |    |
|-----|----------------------------------|----|
| 1   | 出生の推移.....                       | 1  |
| (1) | 年次推移.....                        | 1  |
| (2) | 月別にみた出生.....                     | 2  |
| 2   | 晩婚化・晩産化の状況.....                  | 3  |
| (1) | 年次別の分析（時代による変化）.....             | 3  |
| (2) | 出生コーホート別の分析（世代による変化）.....        | 10 |
| 3   | 出生動向の多面的分析.....                  | 17 |
| (1) | 父母の結婚期間からみた出生.....               | 17 |
| (2) | 結婚期間が妊娠期間より短い出生の傾向.....          | 18 |
| (3) | 単産－複産の種類別にみた出生.....              | 20 |
| (4) | 妊娠期間別にみた出生.....                  | 21 |
| (5) | 出生時の体重.....                      | 21 |
| (6) | 出生の場所・曜日・時間別にみた出生.....           | 23 |
| (7) | （期間）合計特殊出生率を用いた出生数の構造分析.....     | 24 |
| (8) | 嫡出子・嫡出でない子別にみた出生.....            | 26 |
| 4   | 都道府県別にみた出生.....                  | 27 |
| (1) | 年齢階級別出生率・合計特殊出生率.....            | 27 |
| (2) | 結婚期間が妊娠期間より短い出生.....             | 28 |
| (3) | 嫡出子・嫡出でない子.....                  | 29 |
| 5   | 国際比較.....                        | 30 |
| 6   | 統計表.....                         | 32 |
| 7   | 参考.....                          | 37 |
| 8   | 用語の解説.....                       | 39 |
| 9   | （期間）合計特殊出生率を用いた出生数の要素分解について..... | 41 |

### 厚生労働省大臣官房統計情報部

担当係 : 人口動態・保健統計課 計析第2係

電話 : 03-5253-1111 (内線: 7472)

この資料は、厚生労働省ホームページに掲載しています。

「統計調査結果」→「最近公表の統計資料」→「平成17年度出生に関する統計の概況」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/tokusyuu/syussyo05/index.html>

## 「出生に関する統計」について

平成 17 年度「出生に関する統計」は、毎年公表している人口動態統計をもとに、出生の動向について時系列分析、コーホート分析など多面的に分析を行い、人口動態統計特殊報告として取りまとめたものである。

なお、この「出生に関する統計」は、昭和 37（1962）年度「出生時の体重に関する統計」、昭和 59（1984）年度「地域別にみた出生の動向」、平成 3（1991）年度「出生に関する統計」、平成 13（2001）年度「出生に関する統計」に続いて今回で 5 回目である。

## 利用上の注意

### （1）表章記号の規約

|     |                        |
|-----|------------------------|
| ... | 計数不明または計数を表章するのが不適當の場合 |
| 0.0 | 比率が微小(0.05 未満)の場合      |
| △   | 減少数(率)の場合              |

（2）掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合がある。

# 1 出生の推移

## (1) 年次推移

出生数の年次推移をみると、第2次世界大戦前は概ね増加していた。戦後は、終戦直後の繰り延べられた結婚による昭和22～24年の「第1次ベビーブーム」期（ピーク時の昭和24年には270万人）と、その時期に生まれた女子による昭和46～49年の「第2次ベビーブーム」期（ピーク時の昭和48年には209万人）の2つの山がみられた後は減少傾向にあり、平成3～12年は増加と減少を繰り返していたが、平成13年以降は4年連続減少し、平成16年には111万人と過去最低を記録した。（図1）

一方、合計特殊出生率は、「第1次ベビーブーム」期には4を超えていたが、昭和25年以降急激に低下し、昭和36年には1.96となった。その後、昭和41年の「ひのえうま」前後の特殊な動きを除けば緩やかな上昇傾向となり、「第2次ベビーブーム」期の昭和46年に2.16まで回復したが、以後低下傾向に転じ、昭和49年には2.07（人口置換水準）を下回り、平成15、16年には1.29と過去最低を記録した。（図2）

図1 出生数・出生率（人口千対）の年次推移 —明治32～平成16年—

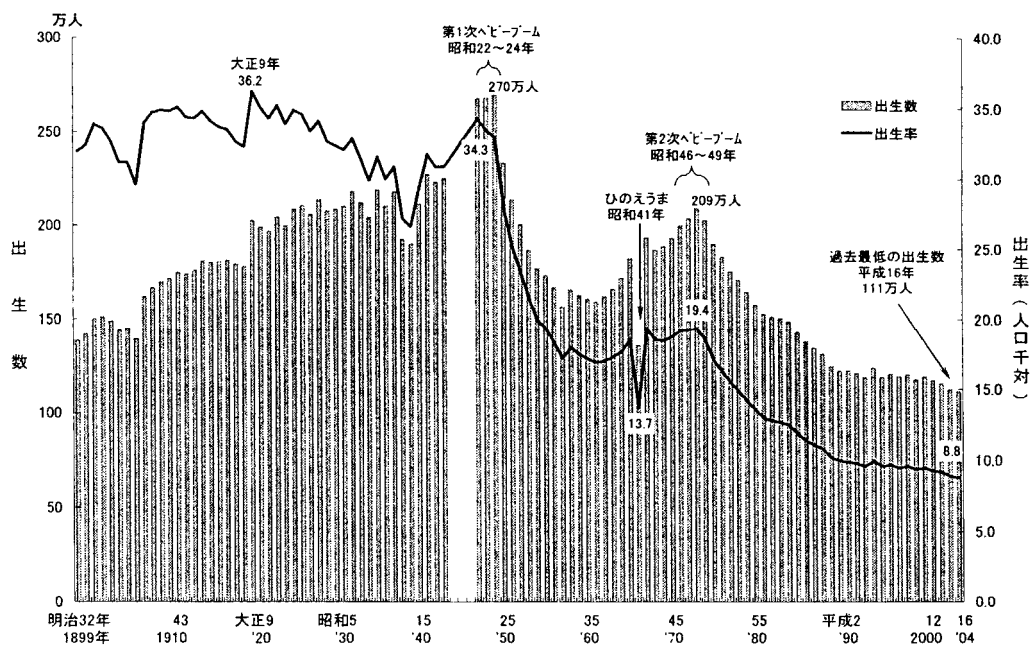
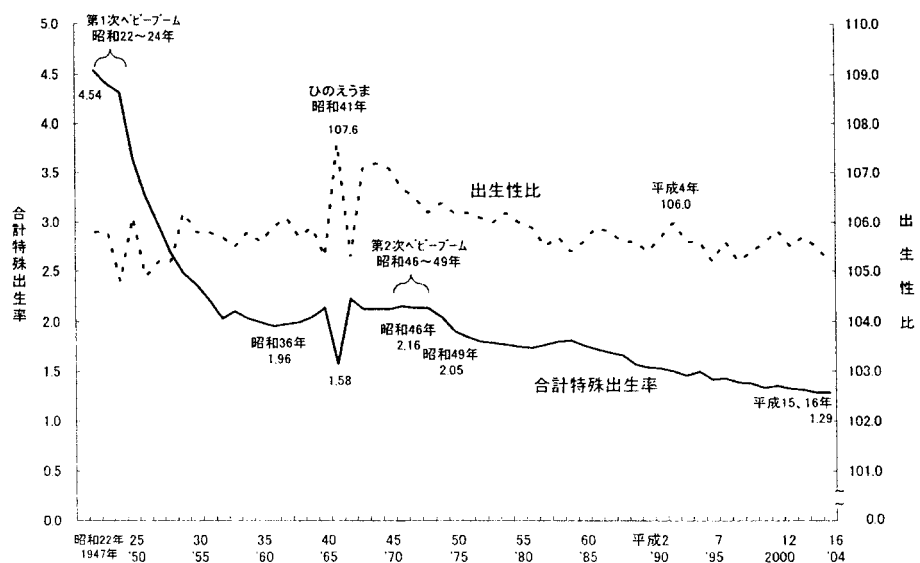


図2 合計特殊出生率・出生性比の年次推移 —昭和22～平成16年—



(2) 月別にみた出生

月間出生率の動向をみると、第2次世界大戦前は、出生月による差が大きく、1～3月に高く6月に低い傾向のまま推移していた。戦後から昭和39年までは、戦前と同様に1～3月が高く6月が低かったが、出生月による差は少なくなってきた。昭和45年以降では、出生月による月間出生率の差は、ほとんどない状態である。(図3)

平成7年以降の月間出生率の動向をみると、7～9月に高く3月が低い傾向がみられたが、出生月による差はほとんどない状態である(表1・図4)。

図3 月別にみた月間出生率(人口千対) —明治32～平成16年—

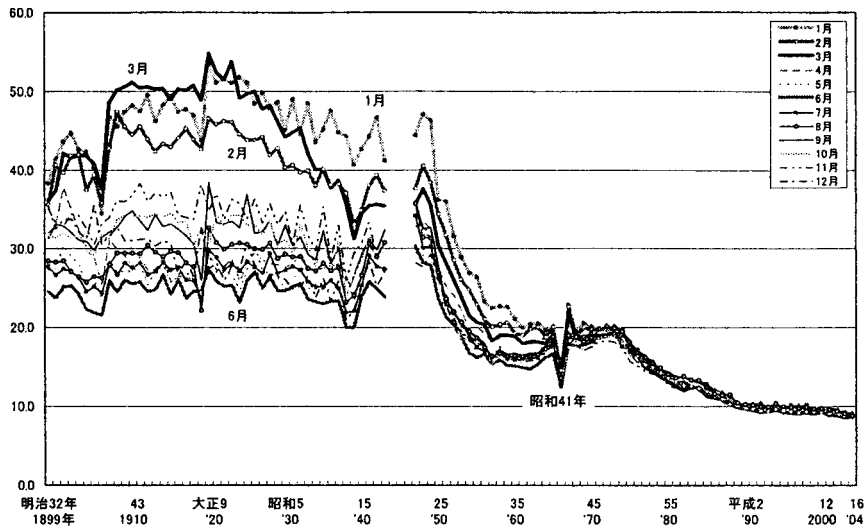


表1 月別にみた近年の月間出生率(人口千対) —平成7～16年—

| 出生月 | 平成7年 | 8    | 9    | 10   | 11  | 12   | 13  | 14  | 15  | 16  |
|-----|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 総数  | 9.6  | 9.7  | 9.5  | 9.6  | 9.4 | 9.5  | 9.3 | 9.2 | 8.9 | 8.8 |
| 1月  | 9.7  | 9.4  | 9.5  | 9.4  | 9.4 | 9.5  | 9.3 | 9.2 | 9.0 | 8.8 |
| 2月  | 9.5  | 9.4  | 9.2  | 9.3  | 9.3 | 9.4  | 9.1 | 9.2 | 8.8 | 8.7 |
| 3月  | 9.3  | 9.2  | 9.1  | 9.3  | 9.1 | 9.3  | 8.9 | 8.9 | 8.6 | 8.7 |
| 4月  | 9.4  | 9.6  | 9.3  | 9.6  | 9.5 | 9.2  | 9.0 | 9.1 | 8.8 | 8.9 |
| 5月  | 9.6  | 9.9  | 9.9  | 9.6  | 9.4 | 9.4  | 9.3 | 9.2 | 8.9 | 8.6 |
| 6月  | 9.8  | 9.8  | 9.8  | 9.8  | 9.5 | 9.3  | 9.2 | 9.0 | 8.8 | 8.6 |
| 7月  | 10.0 | 10.2 | 10.1 | 10.2 | 9.7 | 9.7  | 9.5 | 9.6 | 9.3 | 9.1 |
| 8月  | 10.0 | 9.9  | 9.8  | 9.9  | 9.7 | 9.8  | 9.6 | 9.4 | 9.1 | 8.8 |
| 9月  | 9.9  | 10.1 | 9.7  | 10.2 | 9.7 | 10.0 | 9.9 | 9.6 | 9.2 | 9.3 |
| 10月 | 9.1  | 9.9  | 9.5  | 9.5  | 9.0 | 9.5  | 9.7 | 9.1 | 8.9 | 8.7 |
| 11月 | 9.1  | 9.5  | 9.2  | 9.1  | 9.1 | 9.4  | 9.1 | 8.7 | 8.6 | 8.7 |
| 12月 | 9.2  | 9.4  | 9.4  | 9.4  | 9.2 | 9.3  | 8.9 | 8.9 | 8.8 | 8.7 |

図4 月別にみた近年の月間出生率(人口千対) —平成7・12～16年—

